

田 富 小 だ よ り

当たり前前の生活を守るために

6月1日から給食が始まりました。やっと、通常の学校生活が戻ってきました。「子供が毎日学校に来て楽しく学ぶ」、そんな当たり前前ができることを心からうれしく思っています。

しかし、新型コロナウイルスの脅威がなくなったわけではありません。福岡県では小学校で集団感染が発生していますし、山梨県内でも高校生や中学生の感染者が出ています。いつ、どこで感染者が出てもおかしくない状況です。もし学校で感染者が出れば、再び長期にわたる臨時休業の措置がとられる可能性もあります。そうならないように学校では、毎日登校してすぐに児童の健康チェックをていねいに行っています。

児童の体調管理には、保護者のみなさんの御理解御協力が必要です。毎朝の検温や体調チェックを忘れずお願いします。熱はなくても咳やのどの痛み、頭痛などの症状がある場合には、無理をさせず休ませてください。また、帰宅後の石鹸を使った手洗いも御指導ください。

どんなに気を付けても100%感染しないとは言えませんが、できるだけその危険性を低くする生活の仕方を大人も子供も身に付けることが求められているのだと思います。



「お母さんには言わないで」

これは、問題行動を起こした児童を指導していると、たびたび耳にする言葉です。「親に連絡されると、家に帰ってまた叱られる。」という気持ちから出る言葉です。このような言葉を発する子どもは、行動の判断が「大人に怒られるかどうか」にあります。怒られるから悪いことなのです。だから、誰も見ていなければ、反社会的な行為でも抵抗感なくしてしまいます。



また、「僕だけじゃない。Aさんもやっていました。」という子もいます。こういう子どもは、自分で考え判断することをせず、他の人がやるかどうかで自分の行動を決めています。まさに、「赤信号。みんなで渡れば怖くない。」という、周りの人に流される生き方です。

私たちが育てたいのは、自らの行動を自分で律することができる人間です。簡単に言えば、自分で考えて悪いと思うことは、誰も見ていなくてもやらない人間です。また、たとえ自分一人でも、自分のやるべきことや誰かがやらなければならないことができる人間です。

そのためには、心の中のもう一人の自分と会話しながら、自分自身の行動を振り返ることが必要です。このようなことは、なかなか自然にできることはありません。身近な大人の問いかけにより、子どもが自分の行いを振り返るよう働きかけることが必要です。そして、子どもとの対話の中で大人の考えを伝えることで、子どもの視野は広がっていきます。さらに、子どものよきお手本となることも大人の役割だと思えます。



新しいカウンセラーが配置されました。

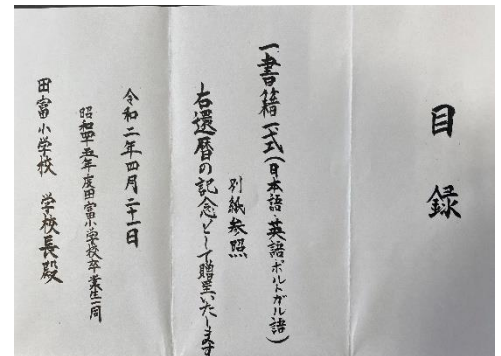
今年度は、遠藤由紀子先生に代わり小泉里菜先生がスクールカウンセラーとして田富小学校に配属されました。原則として、毎週木曜日の午前中に来校していただきます。落ち着いて座ってられない、話が聞けない、癇癢を起こすなど、子どもや子育てに関する保護者の悩みについての相談にも関わっていただきます。

小泉先生の他にも、中央市自立支援カウンセラーの三尾 馨先生にも対応していただけます。三尾先生は、市内の保育園を定期的に訪問し、先生方への指導助言を行っています。中央市の子ども達の様子を熟知しているベテランカウンセラーです。

相談を希望する保護者の方は、担任又は生徒指導主任の古屋までご連絡ください。

先輩からの素敵なプレゼント

田富小学校昭和45年度卒業生のみなさんから還暦の記念として、児童用図書に御寄附をいただきました。外国語の学習が始まったこと、外国籍児童が多数在籍していることを考え、1つの物語を三カ国語版（日本語、英語、ポルトガル語）にさせていただきました。後輩を思う先輩達の温かい気持ちのこもったプレゼント、心から感謝申し上げます。図書室に置き、大切に使用させていただきます。



私が出会った素敵な子ども達の姿

- ① 1年生の下駄箱を見て驚きました。きれいに靴のかかところがそろっていました。入学して間もないのに素晴らしいなあと感心しました。
- ② 弟が入学して来たAさんと妹が入学してきたBさん。集団登校の時、よく声をかけ面倒を見ている。私の前で「あいさつするんだよ。」と教える姿も見られました。兄として、姉としての自覚が感じられました。「立場が人をつくる」ということがありますが、子供にも言えそうです。
- ③ 3年生の男の子たちは昨年度に引き続き、登校すると庭の掃除をしてくれます。先日も「ずっと休みでできなかったから、汚れてるぞ。」と言いながら、熊手を片手に飛び出していました。右の写真のように、一輪車いっぱいの草を集めてくれました。



田富小の子どもたちの姿

登校班指導

6月2日から4回にわたり、登校班の班長と副班長を対象に登校班指導が行われます。交通指導員さんの赤池さんと望月さんから道路を横断する際、ドライバーから見やすいように旗を高く上げること、下級生に声をかけながら渡すことを指導していただきました。危険箇所には守り隊の皆さんも立ってくださっていますが、自分の命を自分で守る意識と技能を身に付けて欲しいと思います。

